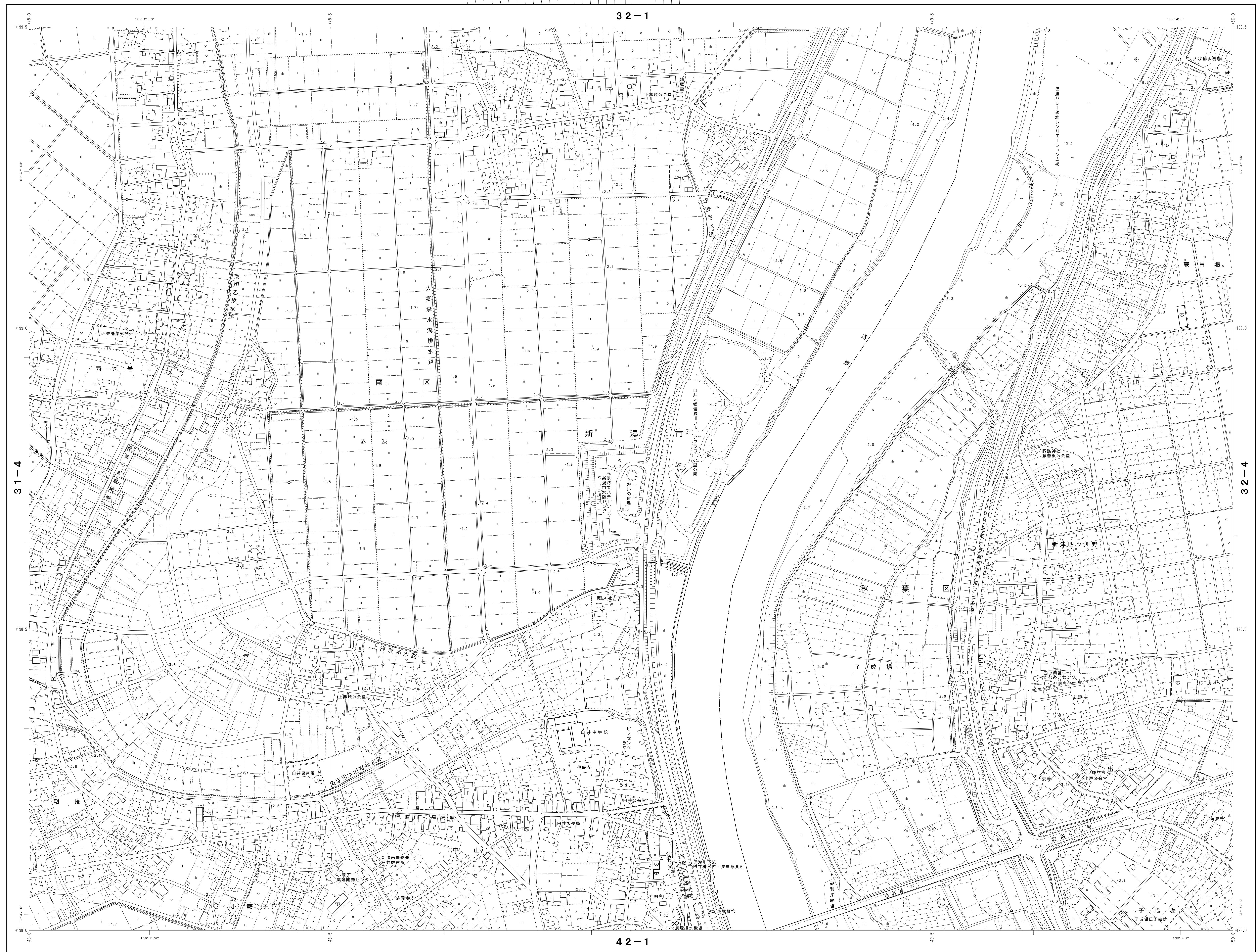


VIII—D F 3 2—3



平成 20 年測量  
令和 2 年修正

1. 令和 2 年 4 月撮影空中写真  
2. 令和 2 年 11 月現地調査

「平面直角座標値は、世界測地系（測地成果2011）による」

1 : 2 5 0 0

「この測量成果は、国土地理院長の助言を受けて得たものである  
(助言番号) 令2 北公 第140号」







市 湯 新 関 機 画 計






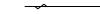























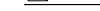











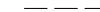




作業機関名  株式会社 **オリス**

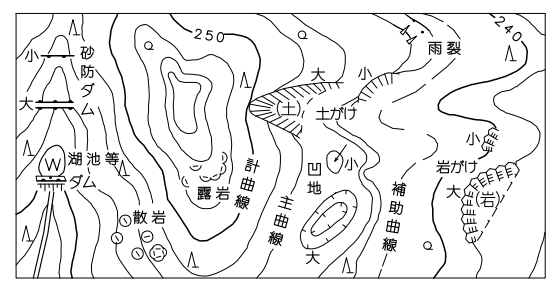
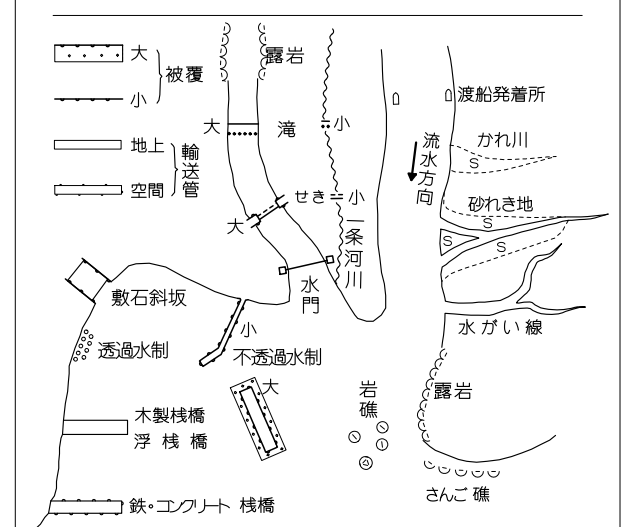
VIII - D F 3 2 - 3

西区 21-3	21-4	22-3	22-4	23-3
31-1	31-2	32-1 新 滬 市	32-2	33-1
31-3	31-4		32-4	秋 區 区 33-3
41-1	南 区 41-2	42-1	42-2	43-1
41-3	41-4	42-3	42-4	43-3

## 記 号

	普通建物	△37.2	三角点
	水準点	△25.62	水準点
	堅ろう建物	○42.3	多角点及び標高 有する固定点
	堅ろう建物	△35.6	公共基準点
	普通築設点	△25.73	公共基準点
	堅ろう築設点	△35.6	電子基準点
		・12.3	標高を有しない 標高点
		・15.8	標高を有しない 標高点

	實 體 派 生		普通 派 生
	虚 體 派 生		特 殊 派 生
	内 的 な 派 生		派 生
	促 音 派 生		
	二 (三) 段 音 の 二 段 音 中 の 派 生		
	二 (三) 段 音 の 二 段 音 中 の 派 生		
	歩 進 ・ 分 類 派 生		二 段 音 中 の 派 生
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義
	派 生 語 義		派 生 語 義



座標系は平成14年国土交通省告示第9号の規定  
による第Ⅲ座標系  
投影は横メルカトル図法  
図郭に表示している座標値はキロメートル単位  
方眼は0.5キロメートル間隔  
図郭に表示している経緯度目盛は10秒間隔  
その基準は東京湾の平均海面  
等高線の間隔は2メートル  
高さは主として地盤変動調査水準測定の成果を  
採用したものである

VIII - D F 3 2 - 3